

「サブライム 紹介文」

岡和田晃

第2期『エクリプス・フェイズ』シェアードワールド企画が開始と相成った。第1期を支えていただいた読者の皆さまに感謝したい。

第2期の先陣を切る作品は、山口優の「サブライム」である。

陥った状況、あるいは使用者の嗜好性に応じて、着用する「義体」が取り替え可能であること。これが『エクリプス・フェイズ』世界の大きな特徴とすることができらるう。この点にスポットを当てたのが本作だ。

「義体」が取り替え可能な世界で、人が死ぬとはどういうことなのか。意志とは何か、そして魂の不滅性とは……。

総合芸術家の義体というヴィジュアルイメージ、量子力学にまで踏み込んだ世界観解釈の妙、そして何より「語り」のゆらぎによって生じるリアリティの歪み。とくとご堪能されたい。

山口優は『シンギュラリティ・コンクエスト』で第11回日本SF新人賞を受賞し、デビュー。同作は、日本語で書かれた、最も『エクリプス・フェイズ』に親和性の高い長篇SFの一つだろう。長篇第二作『アルヴ・レズル ―機械仕掛けの妖精たち―』で第7回BOXAIR新人賞も受賞、スターチャイルドでのアニメ化が決定している。才気あふれる期待の書き手だ。